

緑が丘

学校教育目標

自ら考え

正しい行動のできる

心豊かな生徒の育成

緑が丘中学校

学校通信 NO.3

令和4年6月1日

普通にできることのありがたさ

初夏の爽やかな風が吹き抜ける好季節となりました。6月に入り早くも1学期の折り返し地点を過ぎました。

さて、新型コロナウイルス感染症については、withコロナの生活が随分日常となりました。新型コロナウイルス感染症は、2019年12月初旬に、中国の武漢市で第1例目の感染者が報告されてから、わずか数カ月間にパンデミックと言われる世界的な流行となりました。その中で、有効な治療方法がわからないまま、尊い命が失われたり、病床が確保できない状況になりました。また、医療関係者や飲食関係者をはじめ多くの方々が大変な苦勞をされるなど大きな社会問題となりました。現在も、変異株であるオミクロン株の感染(第6波)が続いておりまだまだ気の抜けない状況です。

学校現場でも、マスクの着用、手指の消毒、黙食など多くの制限が加わりました。卒業式や入学式の規模縮小、体育祭・文化祭の分散開催、オープンスクールの中止などこれまで普通にできていた多くの学校行事を実施することができなくなりました。

1学期の始業式で生徒代表の言葉を述べた3年生の生徒は『私たちは2年前、コロナで日本中の学校が休校のなか、入学しました。そこから2か月、まったく学校に行くことができませんでした。様々な行事の中止、規模の縮小、部活動の停止などとにかく我慢ばかりの2年間でした。』と2年間を振り返りました。そのあと『しかし、まだまだ制限はあるでしょうが不満ばかりを言っても仕方ありません。あらゆる工夫を凝らして思い切り楽しみたいと思います。』と力強く語ったことが心に残っています。



緑中ソーランの練習風景

今、学校では6月4日(土)に開催予定の第47回体育祭に向けて学年練習、全校練習、そして放課後の学級練習に取り組んでいます。全校生で体育祭を行い、保護者の皆様に体育祭を観覧していただくのは実に3年ぶりです。級友と工夫したり、声を掛け合ったりして勝利のために頑張ること。先輩の姿を見てあんなふうになりたいと憧れを持ったり、自分たちの時にはこんなことをやってみたいと思いを膨らませること。このよう

に、学校行事は友人と望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるために欠かせないものです。まだまだ、制限は残りますが普通にできることのありがたさをしっかりと感じ、体育祭を思い切り楽しんでほしいと思います。

(校長 西臺 士郎)



蒼天のもと、グラウンドから見る校舎

5月にはこんなことがありました。

《教育実習》

5月23日（月）から6月10日（金）までの期間に教育実習が行われています。本年度の実習生は5人です。さまざまな教育活動に携わっています。緑が丘中の卒業生でもあり、中学生の良き先輩として実習に励んでいます。



実習生挨拶（オンライン）



1年生校外学習



避難訓練



体育祭練習

※新型コロナウイルス感染症の状況によりましては、予定を変更することもあります。
《毎週水曜日に定時退勤日(18:00)に取り組んでいます。ご理解とご協力をお願いいたします。》

6月の行事予定表は、保護者専用ページに載せています。